

## 薬剤部 DI ニュース

### 爪白癬治療剤：ルコナック爪外用液 5%（一般名：ルリコナゾール）とは

爪白癬は、トリコフィトン属を主な原因菌とする爪の感染症で、爪の白濁、肥厚、変形、落屑などが見られる。爪の肥厚に伴い靴を履くときの痛みや歩行困難などが出現するなど、患者の肉体的・精神的な負担は大きい。また治療が適切に行われない場合は、家族内感染など周囲への拡散を容易に引き起こすことが大きな問題となっている。

従来、日本において爪白癬治療薬は、イトラコナゾール（商品名イトリゾール他）とテルビナフィン（商品名ラミシール他）の経口抗真菌薬のみであったが、2014年9月から外用製剤のトリアゾール系抗真菌薬エフィナコナゾール（商品名クレナフィン）が使用可能となった。

爪白癬の治療選択肢が限られていることから国内外のガイドラインにおいては、一部の病型を除き、原則、内服薬による治療が推奨されている。しかし経口抗真菌薬には、肝障害などの全身的副作用や薬物相互作用も多く、特に高齢などで複数の治療薬を服用している患者では使用が制限される場合もある。

ルリコナゾールは、イトラコナゾールなどと同じイミダゾール系抗真菌薬である。作用機序としては真菌細胞膜を構成するエルゴステロールの生合成を阻害することで抗真菌作用を発揮する。

今回承認されたルコナック爪外用液は、既存の製剤より高濃度（5%）とすることで爪に高濃度で浸透する、爪白癬用に開発された外用抗真菌薬である。各種研究により1日1回塗布で爪表面から爪深部までの爪全層に分布し、爪深部で皮膚糸状菌のMICを上回る薬物濃度を示した。



#### 【効能・効果】

〈適応菌種〉 皮膚糸状菌（トリコフィトン属）

〈適応症〉 爪白癬

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 直接鏡検又は培養等に基づき爪白癬であると確定診断された患者に使用すること。
2. 重症患者における本剤の有効性及び安全性は確認されていない。

【用法・用量】 1日1回罹患爪全体に塗布する。

#### 【使用方法】

1枚の爪に計2プッシュが目安ですが、小指のように小さい爪では1プッシュでも十分広がります。副作用のリスクを減らすため、塗布後、皮膚についた薬液はふき取ってください。


## ルコナック® 爪外用液5%の使い方

**1** キャップをはずし、先端部分を指で数回押し、容器の中の空気を抜きます。



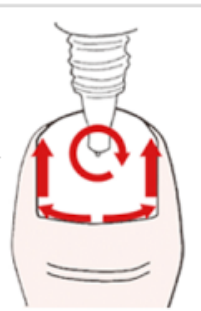
※空気を抜かないと、薬液が多量に出ることがあります。

**2** 容器を下向きにして軽く押しと薬液が出てきます。



※先端を押している間、薬液が出続けますので、出し過ぎに注意してください。

**3** 1回押しで薬液を出し、爪全体に行き渡るように塗り広げます。量が足りないときは、薬液を追加します。




※爪の周りの皮膚についた薬液は必ずふき取ってください。

爪と指の間に1回押しで薬液を出します。



**4** 塗り終わったら、ティッシュペーパーなどで先端をきれいに取り除きます。



※ふき取らないと容器の口が詰まる可能性があります。

**5** キャップをしっかりと締め、立てた状態で保管してください。



### 【製品1本の使用目安】

罹患爪1枚に対して2プッシュ（約20mg）塗布する場合、爪10枚で14日以上ご使用になれます。

### 【投薬期間制限】

本剤は新医薬品であるため、2017年4月末日まで1日14日分を限度とした投薬しかみとめられていません。よって**1本まで**処方可能です。

### 【処方に関しまして】

処方単位：ルコナック爪外用液5% 3.5g/本（1本：3492.3円）

処方本数：**2017年4月末日までは1本まで**、それ以降は、14日分の目安として1本処方ください。